

# 異文化弦楽団

楽器の構造や演奏法、また演奏される音楽は異なるものの、異文化ゆえにつくり出せる価値をお届けする、まさに多様性を目指す社会にふさわしいユニットとして2021年に結成。楽器は地域の歴史や文化を象徴する存在であり、人々のアイデンティティそのものです。世界各地には、バイオリンのように“弓で奏でる”楽器(弓奏弦楽器/擦弦楽器)が数多く存在する中で、日本の胡弓、中国の二胡、ブルガリアのガドゥルカ、西洋のチェロというそれぞれに進化した弓奏弦楽器と中東の打楽器が、お互いの個性と文化を尊重しながら奏で合い、音楽でユーラシア大陸を横断するような気持ちを抱かせてくれる弦楽アンサンブルです。

## 胡弓



日本独自の擦弦楽器  
馬尾の毛を緩く張った弓で擦る  
哀愁に満ちた音色

木場 大輔  
Daisuke Kiba / 胡弓



©TAKUMI JUN

兵庫県淡路島出身。日本の擦弦楽器・胡弓の希少な専門奏者。古典曲の演奏からオリジナル曲の作曲と演奏、異ジャンルとの共演、日本各地に伝わる胡弓の研究、楽器の開発等、胡弓の独奏楽器としての可能性を追求し、新たな光を当てている。

## 二胡

中国で最も著名な擦弦楽器  
小ぶりの胴にはニシキヘビの皮  
人間の声に近い音色



沈琳  
Shen Lin / 二胡



中国揚州市出身。2005年に来日し、横浜を拠点にアジア諸国で幅広く演奏活動を行う。二胡の古典曲だけにとどまらず、オリジナル曲、現代曲、ジャズや様々なジャンルに挑戦。二胡教室を各地で主宰し、普及活動にも取り組んでいる。



## ガドゥルカ

ブルガリアを代表する擦弦楽器  
11本の共鳴弦による  
深い余韻が魅力  
渋くハスキーな音色



ヨルダン・マルコフ  
Yordan Markov / ガドゥルカ

ブルガリアの擦弦楽器・ガドゥルカの中心地であるトラキア地方のノヴァ・ザゴラ市出身。7歳の頃よりガドゥルカを始める。シューメン大学音楽科卒業。2006年に来日後、幅広い演奏活動を通して日本にブルガリア音楽を紹介している。



## チェロ

オーケストラに欠かせない擦弦楽器  
低音と機動力で合奏を支える  
旋律でも表情豊かな深い音色

島津 由美  
Yumi Shimazu / チェロ



大阪府出身。6歳よりチェロを始める。東京藝術大学で学んだ後、室内楽、オーケストラでの演奏をはじめ、ジャンルにとらわれない演奏活動を幅広く展開する。B'z、八神純子、東京事変など数々のアーティスト楽曲のレコーディングに多数参加。

## パーカッション

ダルブッカ、レクなど  
本来は打面に魚皮を使った打楽器  
中東に伝わるリズム(イーカー)で旋律に寄り添う



立岩 潤三  
Junzo Tateiwa / パーカッション

徳島県出身。ダルブッカ、タブラ、フレームドラム、トンバクなど中近東やインドを中心とした打楽器奏者として活躍する一方、作曲やアレンジも手がけ、音楽のジャンルを超えた先端的活動を国内外で展開中。後進の指導にもあたっている。